

研究実施のお知らせ

研究課題名:脳出血後の嚥下障害を有する患者に対する「とろみ氷」の活用による嚥下訓練と栄養状態改善の一症例

研究期間:令和 7 年 7 月 11 日～令和 7 年 8 月 31 日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2024 年 11 月～2024 年 12 月に当院 8 西病棟に入院された脳出血の方

【研究の目的と意義】

2024 年 11 月～12 月に当院 8 西病棟に入院された脳出血の患者とのかかわりを振り返り、とろみ氷の活用における有用性について考察し、その内容を報告いたします。

【研究の方法】

診療記録を用い、後方視的にとろみ氷の有用性について考察します。

【研究に用いる情報の種類】

診療録に記録された診療情報(とろみ氷摂取後お経口摂取量、誤嚥の有無、嚥下訓練の頻度・継続期間、体重、血清アルブミン値などの栄養指標等)を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

【研究の実施体制】

当院で後方的に診療記録、看護記録の考察を行います。

【お問合せ先】

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「問い合わせ」へ遠慮なくご連絡ください。また、研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問合せ先】

仙台市立病院 10 階病棟

代表 022-308-7111

研究責任者 看護師長 遠藤 幸子